

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 28日		～ 2025年 12月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数) 27名
○従業者評価実施期間	2025年11月28日		～ 2025年12月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちの個々の発達に合わせた個別療育を月に1度実施していること。	前月に実施した子どもの個別療育の様子や保護者様の希望を元に、子どもたちの発達状況や困りごとに合わせてきめ細やかな支援をしております。	職員の研修参加や先進地視察の実施。
2	送迎時、希望時、保護者が気になる事や困りごとなど話を聞いて対応していること。	送迎時に直接保護者と関わる機会があり、自宅と施設での情報共有を行っている中で保護者の質問等に答えられるよう心がけております。 また、面談を希望された方には、モニタリング時期関係なく時間をとり相談に乗るように心がけております。	質問しやすい雰囲気づくり。 面談以外の相談機会の確保。 職員間での情報共有。
3	活動内容の充実や外部講師の指導を取り入れていること。	・子どもたちの発達段階や興味関心に合わせて、活動内容を定期的に見直し、無理なく参加できるプログラムを心がけている。 ・日々の支援の中で見られる子どもの姿や課題を職員間で共有し、活動内容に反映させることで、より実践的で意味ある活動となるよう工夫している。 ・外部講師による専門的な指導を取り入れ、職員だけでは得に	・活動後の振り返りをより丁寧に行い、子どもの反応や成長を次回の活動計画に反映させるサイクルを意識していく。 ・保護者に対して活動内容や外部講師の指導のねらいを分かりやすく伝え、家庭での関わりにも活かしてもらえるよう情報提供を行っていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童発達支援での送迎がない。	施設見学に来ていただいている方の中で、活動や施設の雰囲気は良いのに送迎がないため違う施設に入所するため、入所を見送りたいといわれることがあった。	職員の人数等で今現在送迎を行っていませんが、今後送迎できる職員の確保また環境が整ってきたら決められた範囲の送迎も考えていく。
2	非常時の対応に関する評価が低い	非常食の充実など必要ば課題はあるが、取り組み自体は実施している。情報開示・伝え方なども弱く正しく理解されていない部分も大きい。	非常時の対応について定期的な情報共有・教室内掲示・集団プログラムの実施回数増加など情報伝達に努める必要がある。
3			

従業者向け

児童発達支援評価表

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		法令に準じたスペースを確保しております。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		利用者人数などに応じた職員の配置をしております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		施設内はバリアフリーになっておりますが、事業所が2階にある為、入退室時には階段の使用が必要となります。車いすの利用は現状難しい状況です。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		毎日子どもたちが来所する前に職員が清掃を実施しております。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		子ども一人ひとりの気持ちや状態に合わせて、必要に応じて個別の部屋やスペースを使用できる環境を整えています。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		職員間で会議を実施し振り返りや業務改善に繋がられるよう努力してまいります。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		年に一度アンケート調査を実施。回答結果は職員で周知し、会議をする中で業務改善に努めてまいります。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		定期的に職員から意見や気づきを共有できる機会を設けており、日々の支援や環境づくりについて話し合っています。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	現在は受けておりません。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		外部研修。法人研修は積極的に参加しております。
適切な	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		1人ひとりの発達状況やニーズを踏まえた支援プログラムを作成しています。作成したプログラムは、保護者へ分かりやすく説明すると共に、透明性をもって公表しています。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		基本は6か月に1回アセスメントを実施し、個別支援計画書を作成しております。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		支援計画の作成にあたっては、児童発達支援管理責任者だけでなく、日々こどもの支援に携わる職員全員で情報を共有しています。また、定期的な振り返りの機会を設け、必要に応じて計画の見直しも行っていきます。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援計画は、関するすべての職員に共有し、内容を共有認識して持てるようにしています。職員間で情報交換を行い、必要に応じて支援方法の確認や調整も行っています。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		標準化されたツールと、日々の行動観察の両方を行って、子どもの適応行動を確認しています。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		具体的な支援内容で必要な項目を設定しております。

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		現在発達に応じたクラスを3つ設けているので、各クラスごとにプログラムの変更点など話し合いながら行っております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		毎日様々な活動を実施しております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		作成しております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		子どもたちが来所する前に職員間でミーティングを行い、確認事項や補足事項についても話し合っております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		業務終了時間が職員により異なるため、朝の子どもたちの来所まえの話し合いで、前日の支援の振り返りや気づいた点を情報共有しております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日日誌で記録を取り、情報共有をしております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		職員会議等で実施しております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		招集された際には、当施設の児童発達支援管理責任者が参加しております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		連携できる体制を整え、必要に応じて情報共有や調整を行いながら支援しています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		お子様に関わる関係機関と連携して支援を行っております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		開校から現在まで移行支援にあたる該当児童はありません。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		各務原市社会福祉事業団 福祉の里の方と連携を取っております。また専門的支援などに関しても必要に応じて助言をいただける機会も設けています。	

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	子どもたちの特性も配慮し交流する機会があれば事前準備をしっかりと、交流の場をもちたいです。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳や送迎時保護者様と対面した際、アプリで随時連絡が取れる状況です。共通認識をもてるよう保護者様とのコミュニケーションも大事にしております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者様から相談があれば可能な限り助言を行い支援をしております。
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		実施しております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		支援計画を作成する際には、こどもや保護者の思いを丁寧に聞く時間を設けています。面談や日々のやりとりを通して、希望や不安を気軽に伝えられる雰囲気づくりを工夫しています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		同意を得ております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者様からの相談があれば可能な限りの助言を行い支援をしております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	利用児童も増えてきたため、保護者会の実施を計画したいと考えております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		保護者様からの相談があれば可能な限りの助言を行い支援をしております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		活動予定、おたより、ほけんだよりの定期的な配布、HP、SNSの更新。必要事項があればアプリで保護者様宛に情報発信をしております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		注意しております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		子どもや保護者と安心してやりとりができるよう、個別に合わせた伝え方を工夫しています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	実施しておりません。
非 常	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルの作成。実施しております。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		訓練をおこなっております。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時の保護者様との面談時にお聞きしたり、モニタリングシートの記入で確認しています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		対応児には対応しております。

時 等 の 対 応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画の作成を行い、安全な環境の中支援をおこなっております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		面談やおたよりなどを通して、安全に対する取り組みや対応方法を分かりやすく説明し、家庭とも安心して連携がとれるよう努めています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事項が起こった場合、報告を記録し、職員間で共有しています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止の知識を職員間でも研修で周知しています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束の知識を職員間でも研修で周知しています。